

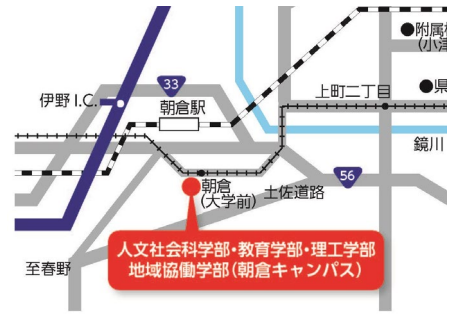


2024年 参加費無料

7/13(土)

10:30~12:00予定

高知大学 朝倉キャンパス
共通教育棟2号館222番教室



多様な生き方を認め理解し合う社会の構築のために私ができること

ー日本は不寛容な社会なのか？ー

● ゲストスピーカー

古子 貴将 氏 (香川県観音寺市立常磐小学校教諭) 「教師という生き方」

塩田 章仁 氏 (虹LAB観音寺代表) 「多様な性について考える」

● ファシリテーター

岡田 倫代 教授 (高知大学教職大学院)

香川大学大学院教育学研究科及び医学系研究科修了。修士(教育学)博士(医学)
一般企業、香川県立高等学校全日制及び定時制教員、香川大学及び四国学院大学非常勤講師等を経て、
現職。自らの経験だけでなく実証的研究の成果をもとに、教育や心理学等の分野で専門的な見識を有し、
NHK総合テレビの「プロフェッショナル 仕事の流儀」で複数回取り上げられる。



● 概要

定時制の高校に通っていた古子先生と、塩田さんは同級生。大人や周囲の人に対して信頼を持たず、生きづらさを感じながら定時制に通っていました。そんな中、あるひとりの教師が二人の担任となったことで、二人の運命が変わり始めます。その担任が差し伸べた手により、古子先生は教師を目指し、塩田さんは自身の性自認と対峙していきます。現在、二人はそれぞれの方法で社会にコミットし、古子先生は子どもに寄り添い、塩田さんは社会を変えようと活動されています。

このVUCA時代、生きづらさを感じている子どもたちは多くいます。私たち教師が、子どもたちにできることはどんなことでしょうか。また様々な背景を持つ大人たちと子どもたちが各々の生き方を認め合い、理解し合える社会を構築するために、私たちには何ができるでしょうか。本講演会では、それについて、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

主催：台湾ジェンダー平等教育研究会 (令和6(2024) 基盤研究(C)台湾の小中学校におけるジェンダー平等教育の実践ー教員が「ally」となるためにはー(磯部香・岡田倫代・福住紀明・葉淑華・黄愛玲)